

2019年度の授業

グループワークでは、各グループで取り組みたいマイノリティ問題を決め、各自で調べたことや共生と社会についての学びをいかし、マイノリティの人びとが生きやすい社会をデザインしました。つぎに、それぞれの発表に対して、他のグループのメンバーがコメントをしました。最後に、これらのコメントをもとにして、改めて社会デザインを考えるレポートを作成しました。なお、各グループで取り組んだマイノリティ問題は、歩行障害者に関する問題と視覚障害者に関する問題です。

受講者の感想

- ◆ 1年間マイノリティについて学んできて（「差別とマイノリティ」「マイノリティのライフストーリー」も受講）、自分が知らなかったマイノリティの方々に関することを知ることができ、マイノリティ問題について考える場を得られたことが将来にも役立つと思います。（創造工学部1年生）
- ◆ この授業では、グループに分かれて、1つのマイノリティについて詳しく調べ、そこから共生社会、自分たちができることについて考えました。その中で、私がこの授業を受けるうえでの理由であった、将来教員になった時に役立つことを学びたいということが達成できて良かったです。（教育学部1年生）
- ◆ コメントなどの機会も多く、良い学びになったと思います。質疑応答のシステムを取り入れるのは、自分では気づかないことを知ることができるなど利点が多くありました。（経済学部1年生）